

# 経済前提に関する報道等の評価について

玉 木 伸 介

## 1. 報道・論評の対象・・・積立金運用利回りが主

- (1) 8つのケースを同じウェイトで扱う（中心シナリオはない）こととしたことから、成長率やTFP、実質賃金上昇率等に関する論評は少ない。
- (2) 運用利回りについては、「名目賃金対比のスプレッド 1.7%」が打ち出されたことから、報道・論評が集中。
- (3) GPIFに関する「有識者会議」報告と専門委員会の報告を重ねて論評される傾向。

## 2. 評価のポイント

- (1) 名目運用利回り（4.2%）と「スプレッド」（実質的な利回り）の区別やその意義をきちんと伝えているか（給付が物価・賃金に連動する賦課方式年金の特質を把握したうえで、運用利回りの持つ意味を国民に伝える努力をしているか）。
- (2) 4.2%も 1.7%も、現時点や今後数年間のものではなく、「2024年度以降の長期」に関するものであることを、きちんと伝えているか（執筆者の思考が長期的か短期的か）。
- (3) GPIFの運用の特徴等を、分りやすく伝えているか。
- (4) その他

以 上